

第6回 廃コン協/OECC 合同セミナー
海外における我が国の Waste-to-Energy（廃棄物焼却発電）技術
～事例と展望～

現在の都市廃棄物管理は、Waste-to-Energy 技術が世界的に趨勢の技術になってきており、衛生的な廃棄物処理を達成すると同時に、廃棄物からエネルギーを回収することが世界各国で望まれている。我が国では、1960 年代の早い段階から、廃棄物焼却技術を導入し、発展させてきており、廃棄物焼却発電技術を成熟させてきた。日本の廃棄物関係団体は、諸外国においても日本の廃棄物発電技術は効果的な技術であるとの認識の下、現在までに官民が協働して、様々な施策を発信しているところである。

しかしながら、東南アジアをはじめとする諸外国においては、我が国の廃棄物焼却発電技術は数例の導入例しかなく、自動車関連産業などの日本発信の技術移転の成功例とは程遠い現実がある。

関係者のこれまでの取組みを紹介しつつ、日本発信の Waste-to-Energy 技術が海外で飛躍的に発展していくためのポイントや今後の展望などを考える場となることを期待し、セミナーを開催します。

記

日 時： 平成 29 年 2 月 22 日（水） 13：30-16：40

場 所： エッサム神田ホール 1 号館 201

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町 3-2-2

プログラム：（予定、テーマは仮題）

13：30	開会・挨拶
13：35	基調講演：『諸外国の Waste-to -Energy 技術の現状』（40分） 京都大学大学院 地球環境学堂/工学研究科 高岡 昌輝 教授
14：15	『我が国循環型産業海外展開促進事業のこれまでと今後』（30分） 環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 小野 洋 企画課長
14：45	小憩（20分）
15：05	『海外での WTE 事業への取組み：事例に学ぶ』（30分） （一社）日本環境衛生施設工業会 近藤 守 技術委員長
15：35	『海外での WTE 事業取組みのサポート：事例に学ぶ』（20分） （株）エックス都市研究所 国際コンサルティング事業本部 杉本 聡 国際協カグループ長
15：55	パネルディスカッション（45分） 『今後の WTE 事業への取組みには何が必要か？』
16：40	閉会

第6回 廃コン協/OECC 合同セミナー
海外における我が国の Waste-to-Energy（廃棄物焼却発電）技術
～事例と展望～

参加申込書
2/17（金）〆切

OECC 岩上行 FAX：03-5472-0145（E-mail：seminar@oecc.or.jp）

参加お申込方法

参加をご希望の方は、参加申込書をFAXでお送りいただくか、同様の内容を記載の上、メールでお申し込みください。

会社・団体名：	
部署・役職：	
氏名：	
住所：	〒
TEL：	
E-mail：	



日時 平成 29 年 2 月 22 日（水）
13：30～16：40

場所 エッサム神田ホール 1 号館 201
〒101-0045
千代田区神田鍛冶町 3-2-2
Tel: (03)3254-8787

アクセス

JR 神田駅 東口 徒歩 1 分
東京メトロ銀座線 神田駅 3 出口前

※東京メトロ神田駅 3 出口は現在改装工事のためご利用できません。
4 出口をご利用下さい。